

### 1. 所長による分析（業務運営の総括）

#### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

当所では求職者の減少傾向が続く中、就職件数、充足件数の増加を目指すため安定所を利用しない在職者等の潜在求職者も含めた求職者全般へのサービスの充実が最重要であると考え、求職者に対する支援の強化を重点的に取り組むこととしました。

6つのPR動画（パッと見て分かるホームページ活用ポイント、再就職手当活用での早期再就職、求職者支援用の4つのリーフレット（面接・履歴書・ビジネスマナー基礎・ビジネスマナー敬語）、jobtag活用法、職業訓練案内、U・Iターン者向け案内）を作成しホームページへ掲載することにより、在職者を含めた潜在求職者等に積極的に働きかけ新規求職者の増加を図りました。また求職者についても「お尋ね求人連絡シート（この求人について聞いてみたい）」のチラシを作成し職業紹介窓口への誘導を強化しました。しかし求職者の減少に歯止めがかからないため、事例検討会や応募書類添削のロールプレイング研修を実施することにより、職員・非常勤職員の専門性向上を図り窓口相談での満足度UPにつなげ紹介件数、就職件数の増加につなげるよう取り組みました。

さらに雇用保険受給者の早期再就職支援を充実させるため、PR動画で再就職手当等のメリットの周知や初回講習を見直し、就職件数の増加を図ることとしました。

求人者向けの支援としては、企業説明会のチラシを見直し、求人票の記載内容を充実させるため「パッと見て分かる求人票でアピール」「求人票に入れてみませんか？おすすめキーワード」を作成し、ホームページに掲載して周知に取り組みました。

#### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

求職者数の減少傾向が続き、若年層の減少幅が大きくなる一方で65歳以上の高齢層が占める割合が高くなっていることから求人条件の緩和等により高齢者の応募可能な求人の確保を強化し、さらにダブルワーク等の求職者ニーズにあわせてパートや臨時の求人確保も行い月2回発行しているシルバー求人情報を活用するなどし紹介件数の増加に取り組みました。

また求職者担当者制や求人担当者制などを活用し、就業地を広げる等の幅を広げたマッチングによる求人情報提供を行い、必要に応じて求人条件緩和を図る等積極的に取り組みました。

雇用保険受給者の早期再就職支援についてもHOT求人情報（週1回発行）を作成、認定時に配布し就職意欲の喚起に努めることを継続し積極的に取り組みました。

減り続けている新規求人を確保する取組が重要であり、充足力の高い求人開拓を強化するために求人者向けのサービスメニューを「求人充足支援サービスメニュー ハローワーク加世田でできること」に見直し、求人票の記載内容を充実させるため「パッと見て分かる求人票アピール」「求人票に入れてみませんか？おすすめキーワード」を作成し、求職者の意向を把握するための「この求人について聞いてみたい」を作成活用し充足数の増加に向けて取り組みました。

### (3) その他の業務運営についての分析等

鹿児島県地域振興局等の県の出先機関、管内3自治体との連携の推進については定期的な連携会議の開催や自治体の要望に応じた労働市場情報の提供を引き続き継続し、誘致企業の各種雇用助成金等を活用した人材の確保の支援、雇用にかかる支援制度の周知、新規学校卒業者等の地元企業への就職による県内就職の促進及びU・Iターン就職、その促進など各自治体の実施する合同企業説明会、誘致企業を対象とした懇話会等の各種イベント等に参加し協力することにより地域に密着したハローワークとしての認知度をあげるよう取り組みました。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

主要指標（就職件数・充足件数・雇用保険受給者早期再就職割合）について目標未達となりました。新規求職者と新規求人数がともに増加し、就職件数と充足件数が増加していく好循環を生み出すためには、まずは求人提出事業所に対し積極的な求人充足支援対策を強化し満足度を高めていく必要が考えられます。またその上で職業紹介窓口への誘導強化に取り組んでいきます。

求職者数の減少傾向（特に若年者）については、今後も継続することが考えられます。オンラインでのサービスメニューの充実の中、ホームページ等でマイページ登録、オンライン相談、オンライン紹介の周知に取り組み、若年者層等の求職活動方法の多様化に対応していくことが必要だと考えます。

当所のホームページは求職者向けのツール・コンテンツについてはかなり充実していますが求人者向けが弱かったことから、下期において取組の強化をしましたがまだ不十分な点があります。求人充足支援を強化するためにも継続的に取り組んでいく必要があります。

2. 総合評価 (※)

|        |
|--------|
| 標準的な成果 |
|--------|

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

|         | 就職件数  | 充足数   | 雇用保険<br>受給者<br>早期再就<br>職割合 | 満足度<br>(求人<br>者) | 満足度<br>(求職<br>者) | ⑧人材不<br>足分野の<br>就職件数 | ①生活保<br>護受給者<br>等の就職<br>率 |  |  |  |  |  |  |
|---------|-------|-------|----------------------------|------------------|------------------|----------------------|---------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 令和6年度目標 | 1,446 | 1,270 | 37.3%                      | 90.0%            | 95.0%            | 388                  | 66.3%                     |  |  |  |  |  |  |
| 令和6年度実績 | 1,203 | 1,010 | 34.3%                      | 77.0%            | 93.1%            | 379                  | 72.2%                     |  |  |  |  |  |  |
| 目標達成率   | 83%   | 79%   | 91%                        |                  |                  | 97%                  | 108%                      |  |  |  |  |  |  |

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。